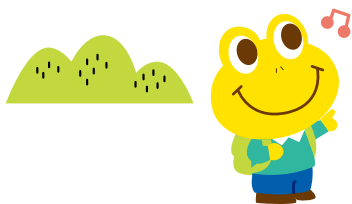




かわうち
むがえる
みんなで



福島県
川内村移住
ガイドブック



お問い合わせ先



▶ 移住・定住の相談窓口

川内村役場

TEL 0240-38-2111 (代表)
〒979-1292
福島県双葉郡川内村大字上川内字早渡11-24

村への移住に関する相談窓口
総務課 企画政策係



川内村移住・定住支援センター (一般社団法人かわうちラボ)

TEL 0240-23-7040
〒979-1201
福島県双葉郡川内村大字上川内字町分282-6



▶ 主な施設のお問い合わせ先

川内村教育委員会

TEL 0240-38-3805
〒979-1201
福島県双葉郡川内村大字上川内字小山平15



- 川内村コミュニティセンター
TEL 0240-38-3806

川内村 保健・福祉・医療複合施設 ゆふね (川内村 保健福祉課)

TEL 0240-38-2941
〒979-1202
福島県双葉郡川内村大字下川内字坂シ内133-5



- 川内村国保診療所
TEL 0240-38-2009
- 川内村歯科診療所
TEL 0240-38-2054

幼保連携型認定こども園 かわうち保育園

TEL 0240-38-2231
〒979-1201
福島県双葉郡川内村大字上川内字沼畑125番地



川内村立 川内小中学園

TEL 0240-38-2004
〒979-1201
福島県双葉郡川内村大字上川内字沼畑125番地



移住をかんがえる皆さまへ

みんなでむかえる 川内村で暮らしませんか？

川内村長

ゆう こう
遠藤 雄幸



村長プロフィール

1955年(昭和30年)川内村生まれ。中学時代は野球部で白球を追いかける日々を過ごす。その後、福島県立原町高等学校(南相馬市)、福島大学(福島市)へと進学。大学ではフォークダンス部に所属し、青春を謳歌する。1999年(平成11年)4月～2000年(平成12年)に川内村議会の議員を務め、2004年(平成16年)川内村 村長に就任。



60年暮らして今感じる 川内村の本当の魅力

私は生まれも育ちも川内村。高校・大学時代は村を出て下宿先から通学しましたが、それ以外はほとんど川内村に住んでいるので、60年くらいここで暮らしてきたことになりましたね。小さい頃は川で水遊びをしたり、山に入ってアケビやヤマブドウなどの木の实を食べたり、近所の神社やお寺の境内で友達と遊んだり…あちこちに思い出深い場所があります。

川内村の魅力はさまざまありますが、誰もが感じている村の宝は、この豊かな自然でしょうね。生活や産業の礎でもあり、ふとした時に自然は人の心を癒してくれます。私も日頃リフレッシュしたい時は、一人で自分に向き合う時間をつくるために散歩に出かけて、周囲の山々の景色に癒されています。朝20～30分かけて近所を散歩することもありますし、昼休みに役場の周りを歩くこともあるんですよ。

川内村の一番の魅力はなんと言っても、村の人たちだと思っています。川内村の人たちは、少々困難に直面してもへこたれない忍耐強さやあきらめない気持ちを持っていてるなと感じます。また、移住者をしつかり迎え入れる懐の深さもあります。そうした特性を生かして、昔からここにあるモノと新しいモノがコラボ

レーションできる村でありたいと思いますね。何か新しいことを始める時、いろいろなお膳立てがあつて環境が整っている場所を選ぶのも間違いではありませんが、「少し難しそうかな?」と感じる環境で挑戦するのも面白いと思うんです。課題解決のために始めた行動から思わぬご縁ができて、そこから自分の生活を支える仕事につながったり、成長ややりがいを感じたり…。そういう視点を立つと、川内村はすぐポテンシャルの高い地域で、「新しいことを始めたい! 挑戦したい!」という志を持つ人にとっては、魅力的な場所だと思います。

若い世代と新しい産業が 地域をどんどん活性化!

移住を考えている方にはぜひ一度、川内村で若い世代が生き生き活動している場を見て来てほしいです。熱い志を持った若者が自分の頭で考えて行動を起こしています。パン屋さん、花屋さんやカフェができており、新たな活力が集う場になっています。そのような動きが村民に良い影響を与えてくれているな、村が元気になったなと実感しています。

震災・事故から12年が経過しました。震災・事故後、新たに作り組んできた産業にも注目し



村長の日々の様子を
アップしています！

遠藤村長のブログ
「日々ゆうこう」

<https://kawauchi.exblog.jp/>



てほしいです。例えば2021年に開所した「かわうちワイナリー」はその一つです。ワイナリーが開所、ワインを販売できるまでに7、8年かかりましたが、あきらめずにコツコツと重ねた努力が実を結んだなとうれしく思っています。ワイナリー周辺では、世界的ワインの産地であるフランスのボルドーを彷彿とさせるようなぶどう畑が一面に広がる素晴らしい景色を見ることが出来ます。川内村産のぶどうを使って川内村で醸造したワインを、今後たくさんの人に味わっていただきたいです。

また、2020年から本格的な施設栽培が始まったイチゴ事業も、村の新たな活力となっています。おいしいと好評なんですよ！

穏やかに生まれ、暮らし、 年を重ねていける村に

川内村では移住・定住に関するさまざまな支援制度を整備しています。中でも2016年に始まった、ひとり親世帯に向けた独自の支援は注目を集め、この制度を利用して移住した方々は30人を超えました。現在は「子育て世帯にやさしい村」を目指し、ひとり親世帯を含めた若者定住応援制度として取り組んでいます。

川内村は人口3000人弱の小さな村です

が、自治体規模が小さいこそそのメリットもあります。コンパクトなので行政にスピード感があり、必要があればすぐに地域に足を運んで実情を知ることが出来ます。村民一人一人の思いをしっかりと捉えて、施策に反映させることも出来ます。都会のような利便性やにぎやかさはありませんが、穏やかに生まれ、穏やかに暮らし、穏やかに年を重ねていける——そんな小さな村ならではの環境に魅力を感じる方々に、実際に村を見ていただき、いつか迎え入れることができればうれしく思います。



わたしたち、移住しました。



川内村の大自然の中で ワイン造り

安達 貴さん



2020年12月に川内村に移住した安達 貴さん。大学で醸造を学び、その後は山梨県や青森県を経て福島県へ。その歩みはまさに「ワインに導かれた」と言えるものでした。現在は「かろうちワイン株式会社」の栽培・醸造責任者として、そして川内村地域おこし協力隊として活動しています。お子さんと一緒に川内村に移住した安達さんに、村での暮らしをお聞きしました。

川内村で ワイナリーの立ち上げに携わる

東京農業大学の醸造科学科で、発酵の勉強をしていました。お酒を飲むのが好きで、発酵の中でも酒造りに興味をもちました。日本酒やビールなど、お酒といっても様々な種類がありますが、ワインだけは原料であるブドウ栽培から醸造まで全てに関われるんです。やるんだったら全部自分でやってみよう。そう思ってワインの道に進みました。

学生時代に休みを利用して、オーストラリアやニュージーランドの家族経営のワイナリーにファームステ

イしていました。そこが本当に素敵な場所です。丘の上に家があって、斜面がブドウ畑とオリーブ畑なんですよ。僕が求めていたのはこういう生き方だ！と思いました。東京でサラリーマンも経験しましたが、僕には無理でしたね(笑)。やっぱり自然の中でワイン造りがしたかった。

山梨県のワイナリーで栽培と醸造両方を経験しました。その後、青森県でワイナリーの立ち上げに関わり、そこからさらに、知り合いの紹介でアドバイザーとして福島県浜通りのワイナリーに携わることに。川内村でワイナリーを立ち上げるから力を貸して欲しいということで、川内村



かろうちワイン株式会社

〒福島県双葉郡川内村大字上川内字大平2番地の1

営業時間 9:00 ~ 17:00

営業日 土曜・日曜・祝日 電話 0240-25-8868

※営業時間や定休日は変更となる場合がございます。
ご訪問前に店舗にご確認ください。



に移住しました。振り返ってみると、ワインに導かれて川内村にたどり着いたという感じですね。

村人のあたたかさを感じる

自分から川内村に移住したくて来たというよりは、ワイン造りを手伝って欲しいと引つ張られて移り住んだので、普通の移住者とはちょっと違うと思うているんですね。村長にも正直にそのことをお話して、移住支援金などは貰えないとお伝えしたのですが、それでも「これは村の総意だから受け取って欲しい」と言ってくださって。手渡して支援金をいただきました。それにはちよつと感動しました。

村って聞くと閉鎖的なイメージがあったのですが、実際に暮らしてみると川内村はまったくそんなことはなく、皆さんあたたかく迎え入れてくれました。「安達くんが来てくれたから、ワイナリー事業がこまでこれた」と言ってくれて、素直に嬉しいですね。

村で暮らしていて、大変かなと思うのが買い物です。スーパーが村内にないので、お隣りの田村市や小野

町まで出かけて、1週間分の食料をまとめ買いしています。洋服や日用品などはネットで購入しています。慣れてしまえば全然平気になりました。便利さより、自然の中で暮らせることの方が、僕には大切なので。

スポーツ少年団のコーチに

娘が村のスポ少でバレーボールを習い始めたんですけど、実は僕、役場に直談判してそのコーチになったんですよ。東京にいた頃、サッカーのコーチをしていて、その経験を活かせるんじゃないかって思ったんです。誰かに教える、というのは、実際にスポーツをやるのとはまた違った技術が必要です。僕がコーチとして入ることで、子どもたちがレベルアップしてくれば嬉しいし、何より自分が楽しんでいきます(笑)。休日には家に引きこもるんじゃないかって、せっかく移住したんだから村での暮らしを思いっきり楽しみたいんですよね。自分からやりたいことを見つけてコミュニケーションの中に入っていくというのが、大切なんじゃないかなと思います。

川内村のワインを全国へアピールしていく

とある経営者が「SNSで発信して批判的な意見を受けたとしても、知られていないよりはマシ。知られていないのは存在していないということと同じだ」とテレビで話しているのを見たんです。まったくその通りだなと思いました。

日々の記録くらいの小さな発信ですが、ワイナリーのインスタは僕が担当しています。それから、芸人さんのオンラインサロンで「かわうちワイン」の話をさせてもらったりもしています。この地域では少しずつ浸透してきていますが、全国的に見たら「かわうちワイン」はまだまだ知られていません。僕が発信し続けることで、少しでも「かわうちワイン」を全国に広めていきたいと思っています。

「かわうちワイン」が広まるということは、川内村の認知も高まるということ。多くの人に川内村を知ってもらうために、これからも頑張っていきたいです。

わたしたち、移住しました。



きれいが詰まった
この場所が大好き！

志賀風夏さん

2023年4月、川内村に古民家カフェがオープンしたと話題に。店名は「秋風舎」。オーナーは川内村出身の志賀風夏さん。ご両親が移築した築200年の古民家を活用したいと、川内産の食材をふんだんに使った料理や、手作りのドリンクを提供するカフェにリノベーションしました。訪れてみると、木漏れ日の中を爽やかな風が通り抜け、まるで物語の中に足を踏み入れたような感覚になります。川内村にUターンし、古民家カフェを営むに至った志賀さんの思いをお届けします。



Café 秋風舎

〒福島県双葉郡川内村大字下川内字牛淵509
営 金曜・土曜・日曜・月曜 11:00 ~ 17:00 (LO 16:30)
☎ 070-2811-6899

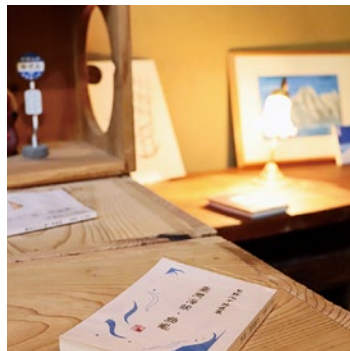
※営業時間や定休日は変更となる場合がございます。
ご訪問前に店舗にご確認ください。

私にもできることがあるはず

村には高校が無いので、相馬市の祖母の家で暮らしながら高校に通い、県内の大学に進学。2017年2月に川内村に戻って来ました。大学に通っていた頃も、ちよくちよく村には帰って来てたんです。その頃は若い人が村からいなくなっちゃって。おじいちゃんおばあちゃんたちが足腰痛めながらも頑張ってるというよな状況でした。私が村に戻るだけで、本当に歓迎してくれて、ありがたがってくれて。私にもできること

があるんじゃないかと、大学を中退して川内にUターンしました。

元々、村のことは好きだったんです。それに、この家をどうにかしなきゃとも思っていました。村に戻ってから「Café Amazon」や「天山文庫」など素敵な場所でも働きましたが、徐々にチェーン店や行政が運営している場所だけでは補えない部分もあると感じるようになってきました。 「もってこいという場所があればいいのに」という思いが募って、じゃあこの家をカフェに自分で運営しよう！と。



どんな人でも集える場所づくり

この場所をコワーキングスペースなどにしてもよかったですけど、それだと来てくれる人が限られるなと思って。特定の人だけが集まる場所ではなく、みんなが気軽に集える場所にしたいかったです。

それにはどうすれば？と考えたときに、川内村の食材を使った食べ物を提供しようと思いつきました。そうすれば、村の外からも中からも人が集まってくれるんじゃないかなって。結果、カフェにして大正解でした。平日は村の人たちが来てくれて、土日は村外から訪れてくれる人が増えました。村人と村外から来る人、半々くらいというバランスです。食べてくれる人の顔を農家さんに届けたい

川内村の農家さんは、半年〜1年以上かけて野菜を作っています。たくさんさんの時間と労力をかけて作ってくれた野菜を、できれば無駄にしないんですよ。だから、余ってしまったって廃棄されている村の作物を買い取ったり、珍しいから試しに少量

だけ作ってみたいけど、どこにも卸せない食材を買い取ったりしています。私にできることは小さなことかもしれないけれど、少量から買い取れるのは個人店の強みだなと思います。

それから、野菜を作ってくれた農家さんたちに、食べてくれる人の笑顔や感想を届けたいという思いもあります。最近では、生産者の顔は消費者に見えるようになってきたけど、その逆はあまりないなと思って。「あの野菜がこんな料理になったよ」とか、「お客さんがおいしいって言うんだよ」とか伝えると、本当に喜んでくれるんですよ。だからこそ、村人も来やすいという環境づくりをすごく意識しています。自分が一生懸命作った野菜を、お客さんが食べている。そんな場面を農家さんが見ることができたら素敵だなあ、と思って。

村の中と外のつながりに

私の両親は村の外からきた移住者です。私は村で生まれ育っているのですが、ちょうど、合いの子、なんですよ。村人になりきれでもないし、完全な移住者でもない。村の人は私を村の子としてかわいがってくれる

けど、両親が苦勞してる姿も見てきたから、村人の気持ちも、移住者の気持ちも、両方わかります。合いの子・雑種である私だからこそそのポジションで、村の中と外のつながりができればいいなと思っています。

川内村は、自然が豊かで四季を色濃く感じられる、本当に良い場所です。田んぼの変化を毎日見ているだけでも「きれいだな」って思えるし、この原風景をずっと守っていきたい。村の美しさは日帰りじゃ味わいきれないから、ゲストハウスみたいなちよっと泊まれるところも作りたいなと思っています。朝の光がきれいだとか、夕日がきれいだとか、星がきれいだなとか。自然を見てきれいって思えるスイッチを押すことができれば、川内のことを好きになってもらえるんじゃないかな。



看板猫のしんちゃんとなんちゃんもびのび暮らしています。

わたしたち、移住しました。



夢だった花屋を
川内村で営む

福塚裕美子さん



2021年、川内村にオープンした花屋「fuku farming flowers」。みんなから“福ちゃん”の愛称で呼ばれている福塚裕美子さんが経営しています。出身は大阪府。21歳で大阪の花屋さんに就職し、その後2011年に東京の園芸店に転職。川内村を初めて訪れるきっかけとなったのが、その年に起きた東日本大震災でした。「花屋になるのが夢だった」と話す福塚さんが、縁もゆかりもなかった川内村で夢を叶えるに至った経緯や、村への思いをご紹介します。



fuku farming flowers

〒福島県双葉郡川内村大字下川内字宮坂 501-32

営 10:00 ~ 16:00

休 日 曜 日 園 芸 0240-25-8709

※営業時間や定休日は変更となる場合がございます。
ご訪問前に店舗にご確認ください。

いてもたってもいられず
川内村へ

震災当時、テレビの中で流れている映像に衝撃を受けました。同じ日本で起きていることなのに、自分が今生きている世界とのギャップが凄すぎて「何かしたい」という思いが溢れてきて。当時は東京の園芸店で働いていたのですが、同僚が川内村出身だということを知り、一緒に震災後の川内村を訪れました。

私は、ただただ自然が豊かだなどしか思わなかったんですけど、同僚

は草がぼうぼうに生えた田畑を見てもすごく悲しそうにしてたんです。「そうか、これは本来の川内村の風景じゃないんだ」と同僚の姿を見てやっと理解できた。そこから「川内村の原風景を取り戻したい」と思うようになったんです。自分で花屋を営むという夢があったものの、その夢は一旦置いておいて、体ひとつで川内村に移住しました。

最初は本当に大変でしたね(笑)。まず、暮らす家が無い。知り合いもまったくないなかったので、自分でも何とかするしかなかった。どうにか



貸してくれる家を見つけたんですけど、プレハブ小屋で(笑)。トイレとお風呂は母屋に借りに行くという生活でした。

まずは、役場に直接「引っ越してきましたんですけど、何か仕事ないですか?」と問い合わせました。住民票を村に移してくれるなら、役場の窓口業務の仕事があるよと言っていた。役場で働きながら、ボランティア活動などをしていましたね。

村を離れ、ドイツへ

3年弱村で暮らしながらも、徐々に「やっぱり花の勉強がしたい」という気持ちが強くなってきました。いつかドイツに行って勉強しようと思っていたんですけど、それは今かもしれない。ワーキングホリデーの年齢制限が近づいていたという理由もあります。お金も貯めなげやいけないし、ビザも取得しなげやいけません。一旦村を離れて名古屋に移ったんです。そこで花屋で働きながら、ドイツに渡る準備をしました。

ドイツに行く前に、お世話になった村の人たちにちゃんと報告しようと、サブライズで川内村を訪れまし

た。「ドイツに行ってきます!」と伝えたあと、「日本に戻ったら、川内村に帰ってきます!」って、勝手に口が動いてて自分でもビックリ。そのとき「私は川内村に戻りたいんだ」と、自分の本当の気持ちに気づけたんです。

再び川内村へ

ドイツから戻ったあと、宣言通り川内村に二度目の移住をしました。夢だったお花屋さんも、移動販売から初めて、2021年に実店舗をオープンできました。一度目のときは、支援者という気持ちがあっただけ、今度は村が好きで自分のために戻ってきた。気持ち全然違いましたね。まあ、二度目も、家がない問題、にぶち当たるんですけど(笑)。大変なことはいっぱいあったけど、それでもこの村で暮らしていこうと思えるのは、これから村がどうなっていくのか見続けていたいから。川内村で花屋をやるなんて、以前の私は想像もしていなかったけど、こうして始めることができた。少しずつ変化している村をずっと見つめて行きたいんです。

この村のお母さんたちが好き

正直に言うと、田舎への移住は良いことばかりじゃないと思います。私もたくさん苦労しました。でも、「ここで暮らしていくんだ!」と覚悟を決めて、自分が信じたことをやり続けた。そうしたら徐々に味方が増えてきました。以前は距離を感じていた人が、お店にお花を買いに来てくれたり。いろんな人がいるけど、結局私は、この村のお母さんたちが好きなんですよね。少し前に婦人会に入ったんですよ。消防団のラッパ隊にもなりました。村人としての役割を担うことで風向きが変わったなど感じています。婦人会からフラワーアレンジメント教室の依頼が来たのも、嬉しかったなあ。

村としても、移住者を受け入れる体制が整ってきていると感じますね。田舎への移住は、期待しすぎると互いに辛い部分もあると思います。だから私は「川内村が好きだからここにいます」という自然体な自分で、これからも暮らしていきたいです。

村のすがた



かわ うち むら

川内村

どんなところ?



総人口	2,333人	村の花	サラサドウダン
世帯数	1,170世帯	村の鳥	ウグイス
村の木	モミの木	公式キャラクター	モリタロウくん

(2023年4月現在)

名所・観光スポット

へぶすぬま

平伏沼



平伏山の山頂にある小さな沼。モリアオガエルの繁殖地として知られており、6月頃、水辺の木の枝には白い泡のような卵が産みつけられます。国の天然記念物に指定されているモリアオガエル繁殖地は、平伏沼を含めて全国で2カ所だけです。

せんとうがわ

千翁川



高塚山から流れ出る千翁川は、「ふくしまの水三十選」に選ばれるほど美しい清流です。水温が低いため、いわなの宝庫となっています。夏は新緑、秋は美しい紅葉が目を楽しませてくれます。

名所・観光スポット

たかつかこうげん

高塚高原



大滝根山の東側に広がる高原。遊歩道が整備されており、5～6月にツツジが咲き誇る光景は「ふくしま緑の百景」に選ばれています。また、6月にはサラサドウダンの花も見頃を迎えます。



いわなのさと

いわなの郷



清流に生息する川魚「いわな」の養魚場や釣り堀を備えた施設。釣り上げたいわなは炭火で塩焼きにしてその場で味わうことができます。また、レストラン「幻魚亭」では塩焼きや唐揚げなどのいわな料理を提供。敷地内には、5～10人で宿泊可能なコテージも備えています。

かわうちくさのしんべいきねんかん

かわうち草野心平記念館

てんざんぶんこ

天山文庫



福島県小川村（現いわき市）生まれの詩人・草野心平先生は、川内村の人々と豊かな自然に心を打たれ、毎年のように村を訪れていました。昭和35年（1960年）に名誉村民になってからは褒章として木炭100俵が毎年贈られ、そのお礼にと心平先生は3,000冊もの蔵書を村に寄贈。これを機に村を挙げて建てた書庫兼別邸が「天山文庫」です。現在もたくさんの蔵書が格納されています。

くさのしんべいしりょうかん

草野心平資料館



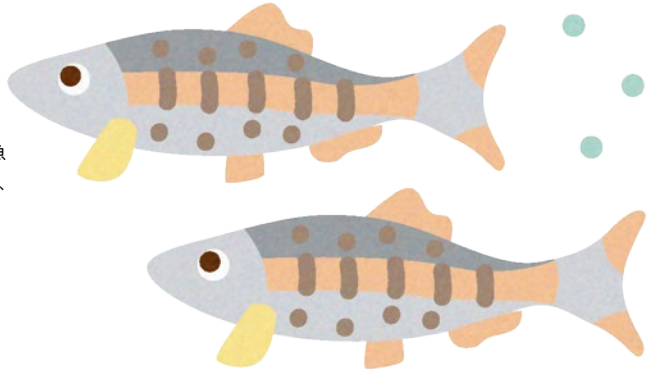
昭和55年（1980年）に開設された民芸資料館。川内村と草野心平先生との深いつながりを示す写真や書などの資料を主に展示しています。館内には、心平先生が東京で経営していた「Bar学校」の模擬店もあります。

特産品

MADE IN  KAWAUCHI

いわな

清らかな水が自慢の川内村では、清流だけに棲む川魚「いわな」を養殖しています。そのため、村の特産品には、「スモークいわな」や「いわな贅沢ごはん」、「炙りいわな」など、おいしいいわなの加工食品が充実しています。



えごま

「食べれば寿命が10年延びる」とも言われるシソ科の植物。「じゅうねん」という別名で呼ばれることもあります。香り高い「すりえごま」や「ドレッシング」など、さまざまな商品が登場しています。

シイタケ

阿武隈高地の冷涼な気候を生かし、ひとつひとつ丁寧にじっくり育てたシイタケ。肉厚でジューシーな身と香り高さを楽しむことができます。



に ほん しゅ 日本酒

かえるのうたげ
純米吟醸「**帰宴**」

川内村の雄大な自然が育んだ酒造好適米「夢の香」を100%使用して誕生しました。すっきりとした口当たりのいい飲み口と豊かな風味が特徴の純米吟醸酒です。村のおみやげとしても人気です。

Fukushima
KAWAUCHI
WINERY

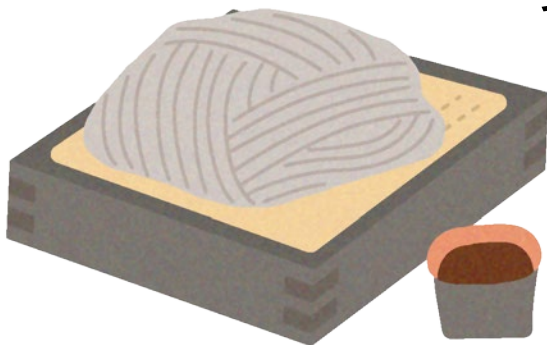


ワイン

川内村では、標高750mに位置する広大な土地で、2016年からワイン用ぶどうの栽培をスタート。その後、2021年にワイン醸造施設「かわうちワイナリー」がオープンし、2022年には川内村産のブドウを使ってかわうちワイナリーが醸造した「ヴィラージュ」シリーズが初出荷を迎えました。白ワイン、ロゼワイン、赤ワイン、スパークリングワインなど、さまざまな銘柄をご賞味あれ!



蕎麦



川内村で栽培される蕎麦は、寒暖差の大きい気候によって一層おいしく育ちます。定番のそば粉や乾麺のほか、蕎麦の実と麦芽・ホップを一緒に仕込んだ「蕎麦ビール」などユニークな商品も販売しています。



蕎麦ビール

川内村産の蕎麦をふんだんに使用したビールです。すっきりとした味わいを楽しめる「蕎麦畑」と、瓶詰めした後も発酵が続くコクの深い「蕎」の2種類があります。

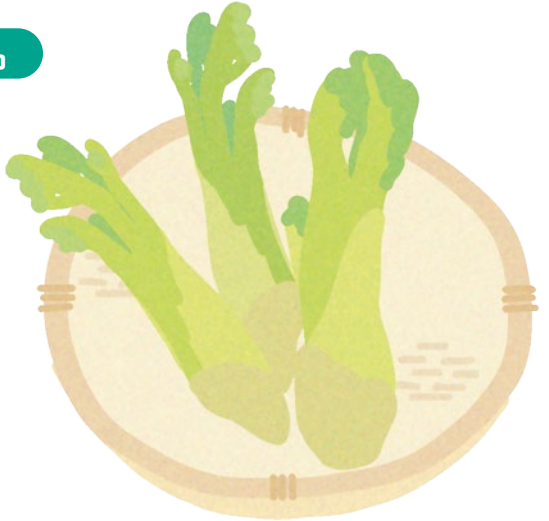


MADE IN  KAWAUCHI

 特産品

め たらの芽

もっちりとした食感とほのかに香る苦味が特徴の山菜です。調理する際は、根元の硬い皮をむくと口当たりが良くなります。

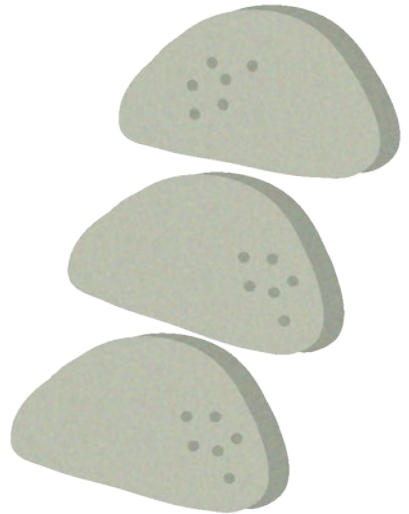


フリルレタス

土を使わない栽培環境で、村のきれいな水と人工光を使用して育てています。えぐみが少ないので、野菜が苦手な方にもおすすめです。

し もち 凍み餅

「凍み餅」は、冬の寒さが厳しい地域に伝わる保存食です。ヨモギなどを練り込んだ餅を軒先につるして寒風にさらし、凍結・乾燥させてつくります。食べる時は、水に数時間つけた後、焼いたり揚げたりしていただきます。



かしわ もち 柏餅

川内村産のもち米とうるち米で作った昔ながらの柏餅。もち米たっぷりのもちもちとした食感をお楽しみください。

味噌



川内村産の素材にこだわり、川内村でつくる味噌。やさしく素朴な甘さが特徴です。川内村産の新鮮な野菜と一緒にぜひお召し上がりください。



味噌漬

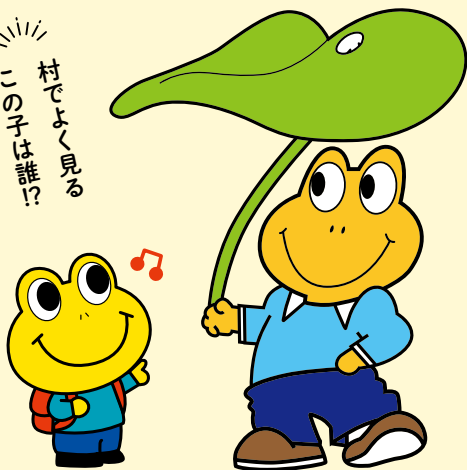
素朴でやさしい味わいの川内村産味噌に、フレッシュな野菜を漬け込みました。食卓で大活躍のごはんのお供です。

結の みそまんじゅう



川内村のお土産で一番人気！皮の中には川内村産の味噌を使った味わい深いあんが詰まっています。

村でよく見る
この子は誰!?



川内村の公式キャラクター

モリタロウくん

出生地 川内村の平伏沼

職業 自然の村長

好きな食べ物 そば、きのこ

好きな場所 高塚高原

尊敬する人 草野心平先生

趣味 詩の朗読、きのこ採り、魚釣り

特技 野球、水泳

チャームポイント 大きなっこり口

KAWAUCHI
MURA

川内村は
全世帯が井戸水を利用！
いつでもおいしい水が
飲めるケロ

豊かな自然に恵まれた川内村は、村内のいたるところに「川」が流れていることから、「川内村」と命名されました。全世帯が井戸水や湧き水を使用しており、全国でも珍しい「上水道施設のない村」です。



かわ
うち
の水

めくみ かわうち恵の水

川内村の地下水をボトリングした「かわうち恵の水」は、まじりつけない天然水。東日本大震災の風評払拭のためにつくられ、くせのない透き通ったおいしさが好評です。ぜひご賞味ください！



かわうちの湯

ここで
飲めます！

川内村唯一の温泉施設「かわうちの湯」では、飲料水として「かわうち恵の水」を使用しています。「かわうちの湯」の泉質は、「美人の湯」とも称されるアルカリ性単純温泉。平日・休日を問わずにぎわう村の人気スポットで癒やしのひとときを過ごしましょう！



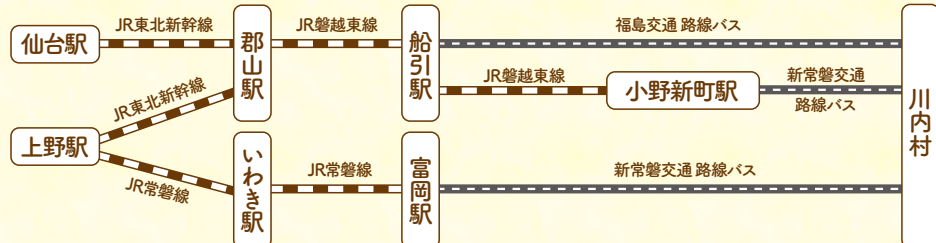
かわうちの湯 TEL 0240-39-0103

かわうちべんりマップ

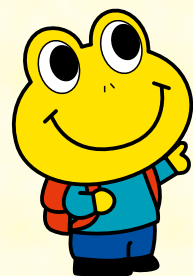
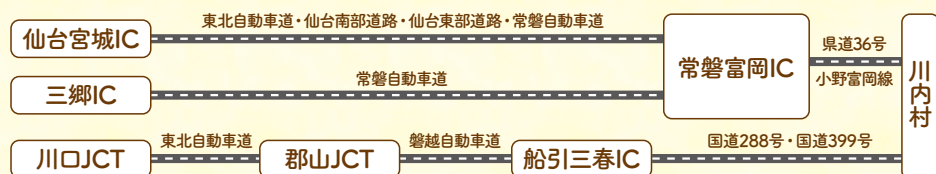


ACCESS

電車・バス



自動車



かわうちは
8つの行政区に
分かれてるケロ!



移住のご相談は
こちらで!



飲食店・生花店

1 BAKERY RIVIÈRE [パン店]



〒川内村大字上川内字早渡11-33 ☎ TEL 0240-23-7176

2 Café Amazon [カフェ・喫茶店]



〒川内村大字上川内字町分102 ☎ TEL 0240-23-5665

3 らーめん三七三 [ラーメン店]



〒川内村大字上川内字町分373 ☎ TEL 0240-38-2882

4 蕎麦酒房 天山 [蕎麦店]



〒川内村大字上川内字町分211 ☎ TEL 0240-38-3426

5 いわなの郷 幻魚亭 [いわな料理店]



〒川内村大字上川内字炭焼場516 ☎ TEL 0240-38-3511

6 Café 秋風舎 [カフェ・喫茶店]



〒川内村大字下川内字牛淵509 ☎ TEL 070-2811-6899

7 ショッピングセンター YO-TASHI [複合商業施設]



〒川内村大字下川内字宮ノ下25-1 ☎ TEL 0240-23-5551

8 fuku farming flowers [生花店]



〒川内村大字下川内字宮坂501-32 ☎ TEL 0240-25-8709

宿泊施設

1 コテージ いわなの郷



〒川内村大字上川内字炭焼場516 ☎ TEL 0240-38-3181

2 ビジネス旅籠 わか久



〒川内村大字上川内字町分222 ☎ TEL 0240-38-2005

3 小松屋旅館



〒川内村大字上川内字町分211 ☎ TEL 0240-38-2033

4 ビジネスホテル かわうち



〒川内村大字上川内字町分394 ☎ TEL 0240-38-3181



6月

第2日曜

かわうち高原ドウダン祭り

※年によって日程が異なる場合がありますので、ご確認ください。



サラサドウダンやツツジが咲き誇る気持ちの良い季節に、県立自然公園 高塚高原の雄大な自然を堪能できる遊歩道を歩き、自然を満喫するイベントです。

7月

第2土曜

天山祭り

てん
さん

※年によって日程が異なる場合がありますので、ご確認ください。



天山文庫の前庭で毎年開催され、故・草野心平先生が愛した祭りです。各自が持ち寄った酒や肴、山菜料理を食べながら、心平先生の遺徳をしのび、親睦を深めます。また、詩の朗読や伝統芸能なども披露されます。





7月

かえるの郷^{さと}トライアスロン in かわうち



小学1年生から参加可能なトライアスロン大会。スイム競技はもりたろうプール、バイク競技・ラン競技は村内の一般道路で実施します。トライアスロン初心者も挑戦しやすい大会です。



8月

BON・DANCE



お盆の時期に川内村ヘリポートで開催される村を挙げての夏祭り。山木屋太鼓などが披露されるステージイベントほか、盆踊りや花火の打ち上げも行われます。

8月

夏季野球大会 (盆野球)



川内村の夏の風物詩と言えば「野球」。昔のチーム仲間が帰省してくるお盆の時期に、みんなで野球を楽しみます。ナイター設備完備の総合グラウンドで毎年開催しています。

9月

かわ うち さと
川内の郷かえるマラソン大会



村内外から集まった参加者が川内村の自然の中を駆け抜けるマラソン大会。ハーフから1.5kmまでさまざまな部門が用意され、毎年たくさんのエントリーがある人気の大会です。



10月

かわうち祭り

11月



伝統芸能をはじめとしたステージイベントや、新蕎麦など村内外の特産品が味わえるおいしいグルメの出店のほか、体験ブースなども登場する楽しい秋祭りです。



移住・定住に関する支援制度

若者定住応援交付金

40歳未満で、福島県内外から川内村へ移住する方へ交付されます。

- 単身20万円、世帯30万円
- 賃貸住宅の家賃補助：家賃の1/2（上限2万円、最長36カ月分）

移住お試し滞在支援補助金

移住を検討している県内外の方へ補助されます。

- 村内宿泊料補助：1人1泊3,000円（最大6泊分）

「来て かわうち」住宅取得等支援事業補助金

住宅を取得する方へ補助されます。

※世帯の状況等により補助額の加算や、福島県事業の加算あり。

- 新 築：建築費の1/10（上限200万円）
- 中 古：取得価格の1/3（上限70万円）
- 増改築：工事費の1/10（上限70万円）

川内村空き家バンク登録促進等事業補助金

空き家バンクに登録する方へ補助されます。

- 家屋の清掃などの費用の1/2（上限10万円）
- 売買契約時の仲介手数料などの1/2（上限15万円）
- 賃貸借契約時の仲介手数料などの1/2（上限5万円）

川内村結婚新生活支援補助金

40歳未満で、令和5年1月1日から12月31日までの間に結婚した夫婦へ補助されます。

- 物件購入費、賃貸住宅の家賃などの実費分（上限30万円）

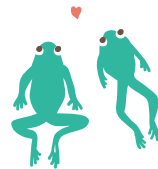
結婚祝金

婚姻したときに支給されます。

※一定の条件があります。

※支給の方法は婚姻時に1/2を支給し、5年経過後に1/2が支給されます。

- 婚姻された夫婦には20万円
- 国際結婚の場合は30万円



移住・定住に関する支援制度

出産祝金

お子さんが産まれたときに支給されます。

※一定の条件があります。

※支給の方法は出産時に1/2を支給し、小中学園入学時に1/2が支給されます。

- 第一子にあつては10万円
- 第二子にあつては20万円
- 第三子以降にあつては30万円

乳幼児医療子ども医療

医療機関に支払う医療費の一部負担金が助成されます。

- 乳幼児：0歳～6歳に達する年度の3月末日まで
- 子ども：7歳～18歳に達する年度の3月末日まで

乳幼児家庭保育支援手当

乳幼児の保育を家庭で行う保護者に対し支給されます。

- 対象：満1歳から満3歳に満たない乳幼児
- 手当：1か月につき乳幼児1人あたり1万円

子育て応援用具購入補助金

チャイルドシート、ベビーカー、ベビーベッド等を購入した場合、購入に要した費用の1/2の補助金が交付されます。(上限2万円)

保育料無料

保育料が無料です。

給食費無料

保育園、小中学園の給食費が無料です。

放課後児童クラブ・子ども教室

「放課後児童クラブ」と「子ども教室」を開設し、児童の放課後育成支援を行っています。

かわうち興学塾

村が運営する小中学生を対象とした学習塾です。低料金で受講できます。

遠距離通学補助金

遠距離通学をしている高等学校生徒の保護者に対し、通学費等を助成します。(上限：1か月あたり3万円)

公共サービス



川内村役場

TEL 0240-38-2111 (代表)

〒979-1292 福島県双葉郡川内村大字上川内字早渡11-24



一般社団法人

かわうちラボ

TEL 0240-23-7040

〒979-1201 福島県双葉郡川内村大字上川内字町分282-6



公共サービス



双葉警察署 川内駐在所

TEL 0240-38-2022

〒979-1201 福島県双葉郡川内村大字上川内字町分174-1



川内村食品検査所

TEL 0240-38-2265

〒979-1201 福島県双葉郡川内村大字上川内字町分549-4



医療・福祉

川内村 保健・福祉・医療複合施設

ゆふね



以下の3つの組織が共同運営しています。



〒979-1202 福島県双葉郡川内村下川内字坂之内133-5
TEL 0240-38-3802

ごみ収集

ごみは分別し、指定の袋に入れて、収集日の朝8時30分までに最寄りの指定集積所（ゴミステーション）に出してください。分別の仕方は、川内村ホームページにも掲載しています。

川内村ホームページ

ごみの出し方



<http://www.kawauchimura.jp/page/dir000187.html>

ごみ収集日について

ごみの収集日は、川内村役場 住民課で配布している「川内村ごみ収集カレンダー」をご確認ください。ごみ収集カレンダーは、川内村ホームページにも掲載しています。

ごみ袋について

双葉地方広域市町村圏組合の指定ごみ袋でのみ収集しています。「燃えるごみ用」「燃えないごみ用」「プラスチック製容器包装用」など、指定ごみ袋は数種類あります。

指定ごみ袋の販売場所

あれ・これ市場、YO-TASHI、農協、その他商店など



ごみ集積所について

- 住民のみが利用できる村内の指定集積所（ゴミステーション）で収集しています。指定の収集日以外は、ごみを出さないようにしましょう。
- 古紙類（雑誌・新聞・段ボールなど）や紙製容器包装はひもで十字に縛り、役場の裏側にあるリサイクル倉庫に出してください。アルミ缶もリサイクル倉庫へ出してください。指定日はありません。

ごみ処理券について

古紙類をゴミステーションに出す際は、見えやすいところに「ごみ処理券」を貼り付けて出してください。

ごみ処理券の取扱店

あれ・これ市場




注意事項

- ごみの分別にご協力をお願いいたします。
- ペットボトルは本体とキャップを分け、缶・ビンと同様に軽くゆすいで出してください。
- ごみ収集カレンダーに記載の「粗大」とは、指定ごみ袋に入らない粗大ごみを収集する日です。事前に南部衛生センターに電話で申し込む必要があります。粗大ごみの大きさによって手数料が変わります。
 - ・小さいもの 1個につき620円 例：電子レンジ、ガステーブル、電気ストーブなど
 - ・大きいもの 1個につき1,120円 例：ベッド、ダンス（90cm以上）、浴槽など粗大ごみの回収について詳しくは下記へお問い合わせください。

双葉地方広域市町村圏組合 南部衛生センター TEL 0240-25-4609

届出・証明書


各種届出や証明書、申請が必要な方は、川内村役場へお問い合わせください。

 住民票

住民票謄本(1人から5人まで)	1通につき	200円
住民票謄本(6人から10人まで)	1通につき	400円
住民票謄本(11人以上)	1通につき	500円
住民票抄本	1通につき	200円
除票	1通につき	200円
住民票の記載事項証明書	1通につき	200円
住民基本台帳の閲覧	1件につき	200円
広域交付住民票	1通につき	200円

 印鑑登録

印鑑登録証	1枚につき	200円
印鑑登録証明書	1通につき	200円

 マイナンバー(個人番号)

マイナンバーカードの再交付	1名につき	1,000円
---------------	-------	--------

 その他

身分証明書	1通につき	200円
届出避難場所証明書	無料	
人口・世帯数 統計表	無料	
年齢別集計表	(Webでご覧いただけます)	
その他	お問い合わせください。	

届出・証明書

各種届出や証明書、申請が必要な方は、川内村役場へお問い合わせください。

戸籍に関する証明等の請求

戸籍全部事項証明書	1通につき	450円
戸籍個人事項証明書	1通につき	450円
戸籍一部事項証明書	1通につき	450円
改製原戸籍謄本(昭和)	1通につき	750円
改製原戸籍謄本(平成)	1通につき	750円
改製原戸籍抄本(昭和)	1通につき	750円
改製原戸籍抄本(平成)	1通につき	750円
戸籍の附票	1通につき	200円
改製原戸籍の附票(平成)	1通につき	200円
戸籍届書の記載事項証明書	1通につき	350円
除籍全部事項証明書	1通につき	750円
除籍個人事項証明書	1通につき	750円
除籍一部事項証明書	1通につき	450円
除籍謄本	1通につき	750円
除籍抄本	1通につき	750円
除籍の附票	1通につき	200円
除籍届書の記載事項証明書	1通につき	350円
戸籍届書の受理証明書	1通につき	350円
上質紙を用いた戸籍届書の受理証明書	1通につき	1,400円
戸籍届書その他の受理した書類の記載事項証明書	1通につき	350円
戸籍届書その他の受理した書類の閲覧	書類1件につき	350円

※戸籍届書…出生、死亡、婚姻、離婚、養子縁組、養子離縁または認知などの届書

川内村をもっと知る

1

毎月1日発行

広報誌 「広報かわうち」



<http://www.kawauchimura.jp/page/dir000520.html>



2

川内村 公式ホームページ

<http://www.kawauchimura.jp/>



3

川内村移住ホームページ

川内村役場 公式ホームページ>移住・定住

「川内村で暮らそう！」

<http://www.kawauchimura.jp/page/dir000304.html>



4

一般社団法人 かわうちラボ ホームページ

<https://www.k-labo.or.jp/>



5

川内村 移住・定住支援センター ホームページ

<https://www.kawauchi-ijyu.com>



お試し居住用トレーラーハウス

GEKKOU

【月光】

「川内村の美しい月明かりの下で移住体験してほしい」という想いと、カエルの鳴き声の「ゲコゲコ」をイメージして名づけました。

移住に向けた物件探しや村内イベントへの参加、農業体験などの際にご利用いただけます。
県外等から川内村への移住を真剣に検討されていて、川内村移住・定住支援センターへご相談いただいた方が対象です。

所在地 福島県双葉郡川内村大字上川内字町分421地内 ※Café Amazon隣



利用できる期間

1泊2日以上1週間以内(入退去日含む)

料金

無料

設備

風呂(シャワー付)、トイレ、冷暖房設備(エアコン2台)、インターネット、駐車場5台分

注意事項

- ・ご利用開始の2週間前までにお申し込みください。
- ・お申し込み後、オンライン(ZOOM)または来所にて職員と面談を行います。

お申し込み先

川内村移住・定住支援センター

(一般社団法人かわうちラボ)

TEL 0240-23-7040

<https://www.kawauchi-ijyu.com>



お電話またはWebサイトからお申し込みください。

村営住宅

- いずれもペット飼育不可です。
- 入居資格・収入基準があるお部屋もございます。
- 空き状況はお問合せください。



町分住宅

所在地

福島県双葉郡川内村
大字上川内字町分
184-1外

十八窪住宅

所在地

福島県双葉郡川内村
大字上川内字十八窪
129-10



リバーサイド 砂田Ⅰ・Ⅱ

所在地

福島県双葉郡川内村
大字下川内字砂田
333-1



村営住宅

- いずれもペット飼育不可です。
- 入居資格・収入基準があるお部屋もございます。
- 空き状況はお問合せください。

宮坂住宅

所在地

福島県双葉郡川内村
大字下川内字宮坂
515



沢住宅

所在地 福島県双葉郡川内村大字上川内字沢26



村営住宅

- いずれもペット飼育不可です。
- 入居資格・収入基準があるお部屋もございます。
- 空き状況はお問合せください。

若者定住促進住宅 (坂シ内住宅)

所在地 福島県双葉郡川内村大字下川内字坂シ内15-1



宮ノ下住宅

所在地

福島県双葉郡川内村
大字下川内字宮ノ下
81-2



村営住宅

- いずれもペット飼育不可です。
- 入居資格・収入基準があるお部屋もございます。
- 空き状況はお問合せください。

定住促進住宅（宮渡住宅）

所在地 福島県双葉郡川内村大字下川内字宮渡57-1



若者定住促進住宅（沢住宅）

所在地 福島県双葉郡川内村大字上川内字沢26-1

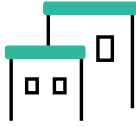


よくある質問

空き家・空き地バンクに関する

よくある質問

Q & A



Q 川内村に住民票がなくても登録できますか？

A 川内村に空き家を所有している方なら、
住民票に関係なく空き家バンクへの登録が可能です。

Q 空き家バンクへの登録は、
親族でも申し込むことができますか？

A できません。申し込み対象者は土地及び建物の所有者のみです。

Q 現在、空き家に家財が残っています。
片付けなければ賃貸や売却はできませんか？

A 必ずしもそうとは限りません。原則としては所有者が処分することになっていますが、
荷物によってはそのまま利用したいというケースもあります。
所有者・希望者双方の意見が合致する場合は、そのまま貸し出しや売却することも可能です。

Q どのような人が利用するか不安です。
「こんな人に貸したい」など、条件をつけることは可能でしょうか？
また、借主または買主を選ぶことはできますか？

A 双方合意の上で契約を交わすので、選択することは可能です。
希望条件がある場合は事前にお知らせください。

Q 物件の賃貸や売却の値段は
どうやって決めたらよいでしょうか？

A 空き家は個人資産なので、所有者が希望する値段を設定することができます。
相場が分からない場合は、指定宅建業者に相談することもできます。

Q 売却・賃貸の際、事前に
どこまで改修する必要がありますか？

A 物件の状態にもよりますが、必ずしも事前に改修する必要はなく、
利用希望者によっては不要な場合もあります。
ただし賃貸の場合、生活する上で必要最低限の改修は視野に入れておきましょう。
また、放っておくと物件に深刻なダメージを受ける雨漏りなどは、早急に対処しましょう。



農地・原野・山林について



農地・原野・山林について



空き家登録の場合

空き家に農地・原野（山林等）が付いている物件の契約に関しては、かわうちラボは関与できかねますので、川内村指定宅建業者★をご紹介します。

空き地登録の場合

空き地（宅地）に農地・原野（山林など）が付いている物件は、空き地のみの登録となります。契約に関しては空き家同様、川内村指定宅建業者★をご紹介します。

農地について

農地の紹介を希望される方は、下記へお問い合わせください。

川内村役場 農政係 TEL 0240-38-2112

★川内村指定宅建業者★

株式会社ニーズ 川内支店

〒979-1202
福島県双葉郡川内村
大字下川内字宮ノ下1番地1
TEL 0240-25-8741



注意事項

- かわうちラボは、物件の売買・賃貸借の契約、交渉等には関与せず、指定宅建業者が仲介いたします。
- 契約が成立した場合は、指定宅建業者へ既定の仲介手数料をお支払いいただくこととなります。

ご利用・ご相談の流れ

借りたい!

川内村 空き家・空き地バンク

ご利用・ご相談の流れ

買いたい!



1 利用申し込みについて

空き家・空き地バンクをご利用になるためには、「空き家・空き地バンク利用申込書（様式第8号）」への記入が必要です。条件に合う物件がございましたら、空き家・空き地バンク利用申込書にご記入の上、かわうちラボまで郵送いただくか、内見の際にご記入ください。後日、担当者または指定宅建業者より、折り返しご連絡いたします。

2 空き家の内見、空き家・空き地の現地確認について

空き家・空き地の情報は、かわうちラボのホームページ「川内村 移住・定住支援センター」内にある空き家・空き地バンクのページに掲載しています。気になった空き家・空き地がございましたら、一度かわうちラボまでお問い合わせください。担当者が内見や現地確認に同行いたします。

3 指定宅建業者との契約手続きについて

購入または賃貸契約が決まりましたら、株式会社ニーズ（川内村指定宅建業者）と契約手続きを行います。

注意事項

- かわうちラボは、物件の売買・賃貸借の契約、交渉等には関与せず、指定宅建業者が仲介いたします。
- 契約が成立した場合は、指定宅建業者へ既定の仲介手数料をお支払いいただくこととなります。

空き家バンクとは



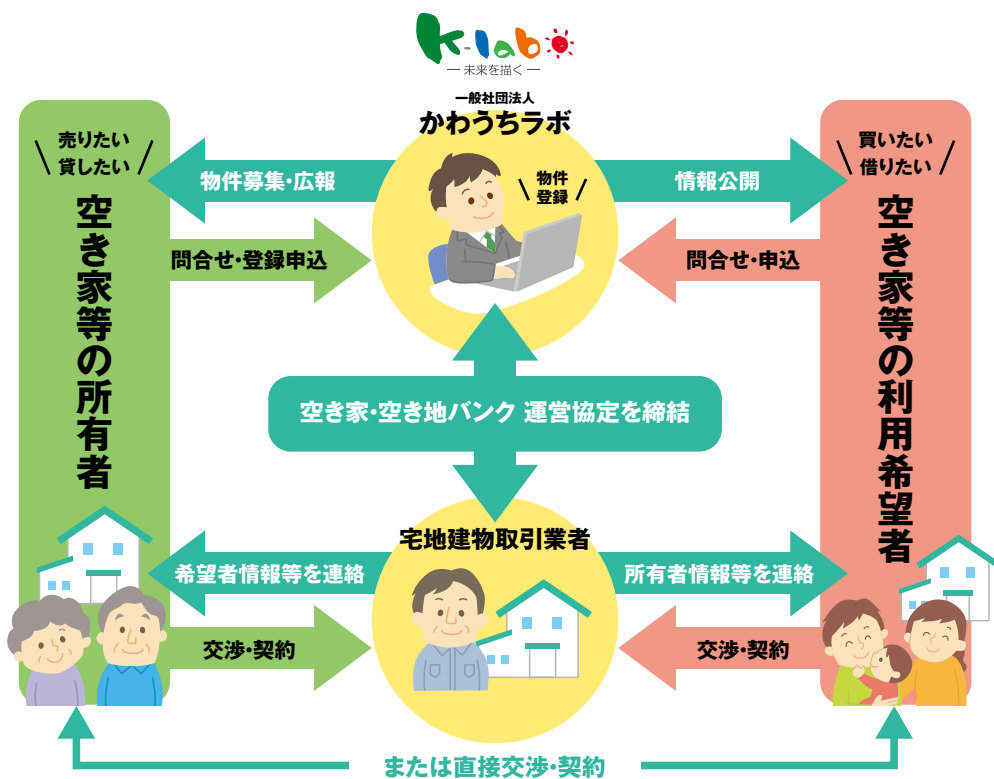
「川内村 空き家・空き地バンク」とは？

村内の空き家・空き地及び空き事業所等の賃貸・売却を希望する所有者から提供された情報を登録し、これから空き家や空き地を利用したい方へ紹介・仲介する制度です。地域活性化、復興の一環として、一般社団法人かわうちラボが取り組み、実施しています。



空き家・空き地バンクへの

登録の流れ



ご利用条件

空き家・空き地バンクをご利用になる場合、下記の条件を満たしている方が対象となります。

- 川内村内に移住や帰村する意思のある者
- 市町村税などを滞納していない者
- 申込者または同居しようとする親族が、「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」第2条6号に規定する暴力団員でないこと



かわうち
空き家バンク
なるほど
ガイド

